

知夫村津波ハザードマップ

避難場所及び避難所の種類

	一時避難場所 災害発生時の危険を回避するために最初に避難する一時的な避難場所です。原則として建物を除いたスペースを指します。ただし、ご自宅で安全が確保できる場合は、無理に避難の必要はありません。
	広域避難場所 災害が拡大し、一時避難場所への避難が困難、又は一時避難場所の避難者に対して更に危険が及び可能性が想定される際に、地域全体が避難できる広いオープンスペースです。
	指定避難所 災害が去った後、帰宅困難者や住居を失った方が臨時に生活を行うことのできる施設です。食料、生活必需品の供給等救護活動の拠点にもなります。
	指定福祉避難所 高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、一般の避難所での生活に支障をきたす災害時要援護者及びその家族が入所するための避難所です。必要に応じて開設される二次的な避難所ですので、最初から一般の避難所として利用することはできません。

災害種類 (一時避難場所・広域避難場所)

火災	土砂災害	地震	津波・高潮

緊急連絡先一覧

警察(緊急)	110
消防(火災・緊急)	119
知夫村役場	08514-8-2211
浦郷警察署	08514-6-0121
知夫村消防団	08514-8-2211

凡例

- 避難場所
 - 津波・高潮
 - その他災害
- 土砂災害警戒区域
 - 急傾斜
 - 土石流

(土砂災害防止法により指定された区域です。利用については島根県土木部(砂防課)の承認を得て複製したものです。)

避難の心得

津波発生時には、一時避難場所に限らず、近くの高台に避難すること。
身の安全・火の始末を行なう。

家財や持ち船の持ち出しはあきらめる。(戻らない)

岩場や堤防などからできるだけ離れる。(近寄らない)

津波の特徴

津波第1波 大きな引き波 津波第2波、第3波

- 津波の高さは想定以上の場合がある。
- 津波の速さは大人の全力疾走と同じくらい。
- 引き波の力はとても強い。
- 津波は1波だけでは限らない。
- 2波は1波の倍ある場合がある。

5分間で避難可能な距離

津波は地震発生から最短約5分で到達する恐れがあります。どこまで避難できるか確認しましょう。

- 標準的な歩行速度
約400m
- お年寄り、乳幼児(自力のみで行動ができていない)
約240m
- 水中(膝下)で歩行
約210m
水中では、歩行速度(避難速度)が著しく低下します。
- 水中(膝下)で歩行
約90m
水中では、歩行速度(避難速度)が著しく低下します。

